

チーム喜中が行く！

諫早市立喜々津中学校
学校だより No.11
文責 校長 山田隆幸

2学期がスタートしました。

2学期の始業式にあたり、生徒たちに下のような話をしました。テーマは「心の持ちよう」について、ざっくり申し上げると、結果よりも過程や自身の成長に重きを置く「しなやか型の心の持ちよう」と、結果や評価にばかり目が行く「硬直型（生徒に向けての話ではカチコチ型と表現）の心の持ちよう」についての話です。私たち大人も、しなやかな心を持ちたいのと同時に、つまずきに負けない、チャレンジ精神あふれる子供を（教員として、親として、地域の大人として）育てられるような存在でありたいと思っています。この心の持ちようは、外部からの働きかけでいくらでもしなやかに変えることができると考えています。

2学期始業式 校長の話（抜粋）

今日は、みなさんに持っておいてほしい「心の持ちよう」について話をしたいと思います。みなさんに持っておいてほしいのは「しなやか」な心の持ちようです。その根底には、「能力は努力と経験によって伸ばすことができる」という考え方があります。これに対して、おすすめできないのが、「カチコチの心の持ちよう」です。その根底には「能力は生まれつき決まっていて変わらない」という考え方があります。

心の持ちようがしなやか型の人には「能力を伸ばすことができる」と考えますから、関心は「自分を向上させること」に向きます。それに対して、カチコチ型の人には「能力はすでに決まっていて変わらない」と考えるため、関心は「今の自分が他人からどう評価されるのか、どんな結果が出ているのか」だけに向きます。しなやか型の人には、もし結果や評価がよくないときにも、そこからの努力で自分を向上させることを大切にできます。失敗を恐れることなく困難な課題にも前向きに挑戦することができます。望まないのは失敗することよりも自分が成長しないことです。そのため、評価や結果は、自分の成長させるきっかけに過ぎないと考えることができますし、うまくいかないときにも大切にするのは最善を尽くすことであると考えることができます。対して、カチコチ型の人には、結果に執着するあまり、失敗を恐れ新しい挑戦を避けることになります。評価や結果が自分の価値そのものであると考え、悪い評価や結果をおそれ、つまずくことを嫌がります。そして、うまくいかないことは誰かのせいや環境が原因であると考えてしまいます。みなさんにはぜひ「しなやか」な心の持ちようで、生活をしてほしいと思っています。

2学期は今日からのスタートですが、すでに課題の提出や実力試験などがありました。課題の提出がうまくできず悩んだり、試験で思ったような結果が得られなかったりしたとしても、しなやか型の心でそのことを自分の成長につなげるためにどうすればよいかを考えてほしいと思っています。もちろん、良い結果が出た人も、そこで満足することなく、さらなる成長に向けた努力を続けてほしいと思います。1年で最も長い2学期には、行事や試験、そのほかにもたくさんの節目があります。それらを、しなやかな心の持ちようでもみなさん自身の成長につなげて、笑顔あふれる2学期にしてほしいと願っています。

今回も次のスライドを示しながら話をしました。

「しなやか」な心の持ちよう



能力は、努力と経験によって伸ばすことができる！

「カチコチ」の心の持ちよう



能力は、生まれつき決まっていって変わらない…

しなやか型



自分を向上させること



一番関心があること



失敗を恐れず、
前向きに挑戦！



難しい課題
への態度



自分が成長しないこと

一番イヤなこと



最善を尽くし、
努力で自分を向上させる

うまくいかない時

カチコチ型



他人からどう評価されるか、
どんな結果か



失敗を恐れ、
新しい挑戦を避ける…



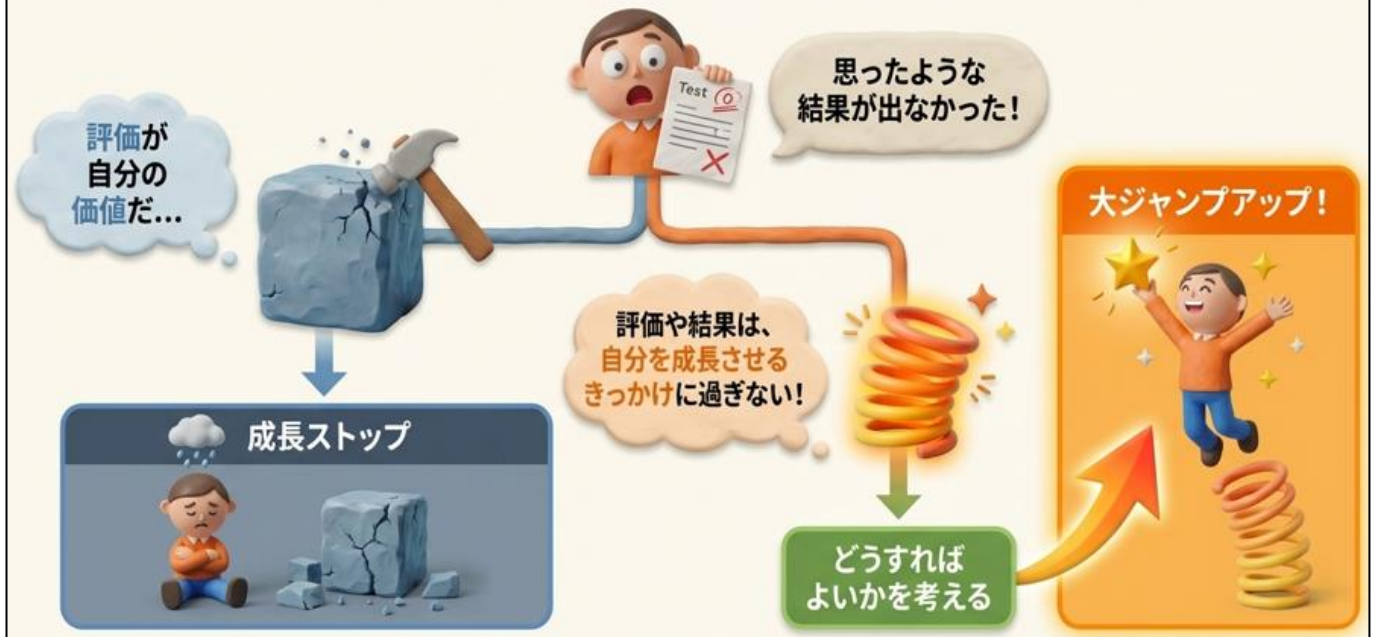
悪い評価を受けてつまづくこと



誰かのせいや、
環境が原因だと考える



もし、実力テストや課題でつまずいてしまったら？



しなやかな心で、笑顔あふれる2学期に!



たくさんの節目での結果や評価を、
自分自身の成長につなげてほしいと
願っています。

※これまでの「チーム喜中が行く!」は喜々津中学校ホームページでもご覧いただけます